

・委員からの追加ご意見、ご質問等

意見	市の考え
I 質問	
<p>・思春期健康教室時、先生方より特別支援学校(学級)の、性の逸脱行為等について 特別な配慮が必要な生徒に対する対応ができないという声を多く聞きます。今後、思春期健康教室で特別支援学校(学級)の対応ができなくなるようなので 気になっています。</p> <p>施策10 知的障害児等へ 性的逸脱行為や性被害・加害への特別な対応について強化はできないのでしょうか。</p> <p>・妊娠が困りごとになっている方々への支援窓口がはっきりしていない(含 24 時間対応ではない)ので、若年、貧困、その他で悩み、未受診につながるケースも多いが、施策1にはいりますか？</p>	<p>・本市の思春期健康教室は、標準プログラムを策定してから12年が経過しており、その間、社会環境や状況等も大きく変化していることから、令和6年度以降に内容の見直しを行う予定になっています。</p> <p>つきましては、今回のご意見も踏まえ、検討を進めていきたいと思っております。</p> <p>・本市における妊娠に関わる支援窓口は、各区役所に設置している子育て世代包括支援センターであり、そのほかにも妊娠相談ほっとナビ等でも相談対応をしています。本センターや事業については、施策(1)「母子保健の充実」にも含まれています。</p>
<p>施策(15)子供の安全を守る環境整備 15-2-206 妊産婦乳児避難所の設置について順調①とありますが、開設に際しての準備についてはまだ途中であったと思います。 (備蓄用の物品について、助産師会との災害時連携協定、避難者受け入れ時の対応について など) 非開設のため順調①と理解して良いのでしょうか？</p>	<p>災害時における妊産婦・乳児避難所については、市内2施設(子どもの館、子育て交流ふれあいプラザ内)で二次的避難所として開設する体制をとっています。</p> <p>開設中の妊産婦等への支援については今後も関係機関と協議を行い、支援内容の充実に努めていきます。</p>
<p>小中高生は、学校で生活する時間がとても長く、子どもを育てる環境として大きな影響を与えているのですが、それが施策として示されていないのはなぜですか。(施策3 乳児・幼児期の教育や保育の充実 の様に)</p>	<p>学校教育については、「子どもプラン」とは別に、教育委員会が計画を定めて施策を進めています。どちらの計画も、新しい「北九州市基本構想・基本計画」の分野別計画に位置付ける予定です。</p>
<p>事業の実施件数など量的評価に重点が置かれているように感じましたが、事業内容の検討などは必要ないのでしょうか。</p>	<p>各事業については、毎年の予算編成の中で都度検討や見直しを行っております。個別の事業の内容についてご質問等ありましたら、お尋ねください。</p>

令和5年度 第1回子ども・子育て会議 委員意見と市の考え

<p>・ 保育園に関していえば、今後、新たな施設建設や改修等で、受け皿を増やす必要は特例を除き必要ないと思われます。現在の施設において、担い手（保育士等）を確保することができれば、潜在的な受け皿は十分に確保できている現状です。令和5年4月1日の民間保育園（認定こども園除く）の定員割れ状況は75%を超えており（市私立保育連盟調査）、原因の多くは「保育士不足」です。</p>	<p>「保育士不足」については、市としても大きな課題と考えております。 今後の会議での皆さまのご意見などを踏まえて、取り組んでまいります。</p>
<p>・ 第3次計画が策定された令和元年から5年を経過したことで、子どもたちをとりまく情勢も大きく変化しています。この間コロナ禍も体験し、4次計画は少し方向性も変わるのかと思います。世の中無償化が流行ですが、適正な負担はあっても良いのではないかと日頃の保護者との会話などから感じているところです。</p>	<p>ご指摘のとおり、現在のプランを策定した令和元年と比べ、社会情勢など大きく変わっております。現状や課題などを整理し、今後の会議で、皆さまと協議してまいります。</p>
<p>・ 保育士の確保については、保育園だけの問題ではなく、児童養護施設も同様です。保育士人材バンクが北九州市のシステムとしてあるというお話でしたが、どのような仕組みで、どのように活用できるのか、また、活用の頻度についてお聞きしたかったです。ご回答よろしく申し上げます。</p>	<p>保育士等の安定的な人材の確保を図るため、平成27年4月1日から「北九州市保育士・保育所支援センター」（無料職業紹介所）をAIM ウーマンワークカフェ内に開設しています。 コーディネーターが、保育士等（保育士、給食調理員、栄養士、看護師及び事務員）として保育所等（認可保育所、認定こども園(保育部分)、家庭的保育事業所、小規模保育事業所、事業所内保育事業所）への就職を希望する方と、求人を募集する保育所等との調整を行い、スムーズな就職を支援します。 また、現在、保育所等に勤務している保育士の方からの様々な相談もお受けしています。 令和4年度の実績は、求人数346件、求職件数169件、成立件数101件、電話相談743件、窓口相談260件となっています。</p>
<p>日程を確認すると、6年12月ごろに素案に対するパブリックコメントを聴取する予定となっていますが、素案ができる前の早い時期に、「こんなプランになってほしい」といったイメージや要望等を求める機会が設定できないかと考えます。もちろん素案ができ上がった段階で意見聴取をすることは大切だとは思いますが、ほぼ完成に近づいた状態でコメントをもらう前に、できないことはできないこととして、素朴な疑問などあればしっかり応えるタイミングを設けてはと思います。</p>	<p>北九州市の子育て家庭の現状や市民ニーズを把握することを目的に、令和6年1月に20,000件の子育て世帯等を対象にした市民アンケートを実施しています。また今後、こどもの意見も聴取する予定であり、次期子どもプランにそれらの意見を反映させていくこととしています。 市民アンケートやこどもの意見聴取の結果については、子ども子育て会議で報告させていただく予定です。</p>

令和5年度 第1回子ども・子育て会議 委員意見と市の考え

<p>・資料6-1についてお伺いしたいのですが、成果指標にある基準値とはどのように求められているのでしょうか。</p>	<p>本計画(第3次計画)策定時に、成果指標の設定をしております。原則として、設定した成果指標の平成29年度～令和元年度の3年間平均を基準値としていますが、それぞれの施策に応じて設定しているものもあります。</p>
---	---